

西本委員（民主県政会）

令和5年3月1日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) S T E A M教育の視点を取り入れた探究活動の充実について

モデル校において取り組んできたS T E A M型カリキュラムの成果と、S T E A M教育の視点を取り入れた探究活動を今後どのように充実させていくのか、併せて教育長に伺う。

(答)

本年度開発したS T E A M型カリキュラムにおきましては、課題の発見や解決をしていくこと、さらに社会的な価値を創造していく資質・能力を育成することを目指して、様々な社会課題をテーマに、生徒が自由な発想で教科等横断的に解決策のアイディアを出し合い、そのアイディアを形にしていくという探究活動を行うこととしております。

このカリキュラムの実施に当たりましては、地域や大学、企業との連携を強化することや教員のファシリテート力の向上等が求められております。

このため、例えば、地域が抱える現実的な課題について、

- ・ 金融機関等と連携し、地域経済に係るデータを踏まえて新しいサービスを提案する
- ・ 大学と連携し、建造物等の模型の作成・実験を踏まえて災害に強い街づくりを提案するなど、

社会実装につながるカリキュラムを開発したところでございます。

令和5年度は、モデル校に3Dプリンター等の整備を行い、実際の授業における様々な実践を通して見られた生徒の姿を踏まえて、カリキュラムの検証・改善に取り組んでまいりたいと考えております。

県教育委員会といたしましては、モデル校の実践につきまして、県教育委員会が主催する研修や教育研究・実践合同発表会において紹介するなどして教員の資質向上を図ってまいります。